

小中学校外国語教育のこれから

ABC - 小学校外国語の教科化で5・6年生の授業はどう変わるか -

小学校外国語の教科化に伴い、本市ではこの4月から開隆堂出版の“Junior Sunshine”が5・6年生教科書として使われています。今号では、この“Junior Sunshine”の特徴を概観します。この教科書を使って、「定着」目指して授業展開をすることになります。

題材一覧（児童の身近な生活から世界のことまで、楽しく学べる題材が選ばれています。）

5年生：身近な社会とのかかわり		We Can!・2との関連	6年生：世界とのかかわり		We Can!・2との関連
Lesson1	Nice to meet you. ▶名刺交換をしよう。	We Can! Unit1	Lesson1	We are friends. ▶クラスの輪を広げよう。（復習）	We Can!2 Unit1
Lesson2	When is your birthday? ▶クラスの誕生日ポスターを作ろう。	We Can! Unit2	Lesson2	What time do you get up? ▶自分の一日をしようかいしよう。	We Can!2 Unit4
Lesson3	What do you have on Mondays? ▶ある職業になるための時間割を作ろう。	We Can! Unit3	Lesson3	Where do you want to go? ▶ツアープランナーになろう。	We Can! Unit6
Lesson4	Can you do this? ▶プロフィールカードを作ろう。	We Can! Unit5	Lesson4	Welcome to Japan. ▶日本のことをしようかいしよう。	We Can!2 Unit2
Project1	パーティーを楽しもう。（復習）		Lesson5	I want to see the Milky Way. ▶短冊に願いを書こう。	Junior Sunshine独自
Lesson5	Where is your treasure? ▶宝物への道案内をしよう。	We Can! Unit7	Lesson6	My Summer vacation ▶夏休みの思い出を発表しよう。	We Can!2 Unit5
Lesson6	My Hero ▶あこがれの人物を紹介しよう。	We Can! Unit5 We Can!2 Unit3	Project1	世界で活躍する自分をしようかいしよう。（復習）	
Lesson7	Happy New Year ▶年賀状を作ろう。	Junior Sunshine独自	Lesson7	Watch the world ▶世界の衣食住を知ろう。	Junior Sunshine独自
Lesson8	What would you like? ▶ランチメニューを考えよう。	We Can! Unit8	Lesson8	What sports do you like? ▶人気のスポーツを調べよう。	We Can!2 Unit1 We Can!2 Unit6
Lesson9	I like my town. ▶「自分の町しようかい」をしよう。	We Can!2 Unit4	Lesson9	My Favorite Memory ▶思い出を絵本にしよう。	We Can!2 Unit7
Project2	自分のことを伝えよう。（復習）		Lesson10	I have a dream. ▶将来の夢をしようかいしよう。	We Can!2 Unit8
			Lesson11	Junior High School Life ▶中学校でしたいことを発表しよう。	We Can!2 Unit9
			Project2	感謝の気持ちを伝えよう。	Junior Sunshine独自

5年生教材は、身近な社会とのかかわりを英語で表現するために適した題材が、6年生教材は、世界に羽ばたく児童が自分を見つめ、将来を考えるための題材が選ばれています。全体的には、昨年度使用していたWe can!がベースになっていることが分かります。

特長（We Can! 作成をもとに、さまざまな特長があるようです。）

◇外国語活動を受け継ぎ、中学校英語へバトンを渡す

■ Junior Sunshine 5・・・外国語活動(3・4年)の学習内容を、おさらいするところからスタートしています。

What time is it? - It's 1:30.

What do you like? - I like bananas.

■ Junior Sunshine 6・・・6年生の巻末には、中学校でつまずきやすい4つの項目「語順」「過去形」「単数形・複数形」「外来語」を取り上げたページがあり、中学校英語に安心してつなげられるよう、視覚的にも分かりやすいものになっています。児童の負担感に配慮しながら上手に活用したいものです。



参考資料：開隆堂 小学校2020年度版教科書 Junior Sunshine



教育研究所(斉藤文庫)の蔵書(英語絵本)



・借り方

斉藤文庫と同様です。
連絡先：0143-26-2888
※室蘭市教育研究所に事前に連絡してください。

▶リーフレットに関する情報は、室蘭市教育研究所HPより入手することができます。「室蘭市教育研究所HP」で検索可能です。



QRコードはこちらから

小中接続 中学校新学習指導要領で求められる授業の方向性

小学校からの学びをつなぐ

小学校ではこのような指導をしています

今後、学びの違う子どもたちが入学してきます

中学入学時累計授業時数(移行期間中15時間プラスで実施したとき)

中学入学年	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
中学入学時 累計授業時数	70	85	110	145	180	200	210
6年	35	50	60	70	70	70	70
5年	35	35	50	60	70	70	70
4年	0	0	0	15	25	35	35
3年	0	0	0	0	15	25	35
2年	0	0	0	0	0	0	0
1年	0	0	0	0	0	0	0

★中学年の学び方

○**体験を通して学ぶ。**

○**児童が興味・関心をもつ題材(やってみたいと思う活動)の設定。**

★高学年の学び方

○**“Small Talk”**を児童が聞いたり、自分の考えや気持ちをペアに伝える活動。既習表現を繰り返しながら習得。

○**音声から文字**への指導をもとに、十分慣れ親しむ。

○児童が聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする**必然性のある活動**から文法項目に触れる。

○**「読むこと」「書くこと」については慣れ親しみ**であり、「聞くこと」「話すこと」に求める技能と同等ではない。

言語項目	言語材料	Junior Sunshine 5	Junior Sunshine 6	Sunshine English Course 1	Sunshine English Course 2
アルファベット	大文字, 小文字	Lesson 1, 3, 7		Program 1-1,2,3	
be動詞	am, are,	Lesson 1, 3	Lesson 1	Program 2-1	
一般動詞	like, have	Lesson 2, 3	Lesson 4,7	Program 3-1	
wh疑問詞	when	Lesson 2		Program 7-3	
	what	Lesson 3	Lesson 2, 8, 9, 1	Program 4-1	
	where	Lesson 5	Lesson 3	Program 5-2	
	who	Lesson 6		Program 7-1	
助動詞	why		Lesson 3	Program 10-2	
	can	Lesson 4		Program 8-1,2	
三人称単数の主語	It	Lesson 5		Program 5-1,3	
	He/She	Lesson 6		Program 5-3	
動詞の過去形	was		Lesson 6		Program 1-2
	went / ateなど		Lesson 6	Program 11-1	
不定詞の名称的用法	want to be		Lesson 5		Program 6-1
時間をたずねる	What time ~?		Lesson 2	POWER-UP 4 Speaking	
買い物	How much~? I'd like ~	Lesson 8		POWER-UP 10 Speaking	Program 6-1
道案内	go straight It's on	Lesson 5			POWER-UP 6 Speaking
指示代名詞	This is~	Lesson 9		Program 5	

★小学校の学習内容

○これらの文法事項の説明を最初にしな**い**。夏休みにしたことなどについて聞いたり話したりする**必然性のある活動を通して出合わせる。**

○三人称単数の主語を扱いますが、**一般動詞の三人称単数現在の-sは扱わない。**

○過去形肯定文を扱う。例えば、**I went to the sea. I ate pizza. It was nice.** など限られる。

○読み書きについては、**音声で十分慣れ親しむ。**

○簡単な語句や基本的な表現を、掲示やパンフレット、絵本の中から**識別したり、必要な情報を得たり、それらを書き写す、例を参考に書く**などスモールステップで学習する。

全面実施までの学習内容及び語彙数等

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
		小学校移行期間			小学校全面実施	
					中学校全面実施	
						高校全面実施
小5(35)	小6(50) Hi, friends!2 We can 2	中1	中2	中3 ★新教科書 (1200→2500)	高1	
小4	小5(50) Hi, friends!1 We Can!1	小6(60) Hi, friends!2 We can 2	中1	中2 ★新教科書 (1200→2500)	中3 ★新教科書 (1200→2500)	
小3	小4(15) Let's try!1,2	小5(60) Hi, friends!1 We Can!1	小6(70) ★新教科書 (600~700)	中1 ★新教科書	中2 ★新教科書	
小2	小3(15) Let's try!1	小4(25) Let's try!2	小5(70) ★新教科書	小6(70) ★新教科書	中1 ★新教科書	
小1	小2	小3(25) Let's try!1	小4(35) ★新しい教材	小5(70) ★新教科書	小6(70) ★新教科書	
年長	小1	小2	小3(35)	小4(35)	小5(70)	

語彙の指導について(中学校学習指導要領解説外国語P33~P35)

★帯活動から語彙を習得

○現行の1,200語程度から**1,600~1,800語程度**へ。小学校の600~700語程度を加えると、**中学校卒業段階では、2,200~2,500語程度**となる。

○中学校では、**発信語彙**と**受容語彙**に分けられる。

発信語彙→話したり書いたりする際に使用させる語
受容語彙→聞いたり読んだりする際に理解できる語

○中学校でも、**“Small Talk”**などを帯活動として取り入れる。既習単語を**繰り返し活用しながら定着**させる。

○追加される語彙

動詞: imagine, solve, focusなど

形容詞・副詞: strict, lazy, everywhereなど